医療法人 玉昌会 鰺坂クリニック

2019 年度 医療法人玉昌会 鯵坂クリニック

《基本方針》

安心・安全 正確・丁寧な 健康診断サービスを提供いたします

《沿革》

2018 年 4 月 医療法人玉昌会傘下へ入り 巡回型健康診断事業所を開設

2018 年 4 月 デジタル胸部レントゲン車を導入

2019 年 10 月 法人内医療機関との連携強化のため 事業所移転

鯵坂クリニックの概要

名 称 医療法人玉昌会 鰺坂クリニック

所 在 地 〒892-0824

鹿児島県鹿児島市堀江町 15-4

TEL (099) 226-8696 FAX (099) 225-3040

E-Mail: jyunkai-kensin@gyokushoukai.com

開設 者高田昌実

管理 者米澤傑

医療法人 玉昌会「鰺坂クリニック」 院長挨拶と現状報告

鰺坂クリニック院長 米澤 傑



2018 年 4 月、鰺坂健診クリニックが当医療法人の傘下に入り、私が院長に就任して 2 年が経ちました。

玉昌会の基本理念「いつまでも健やかに・・・・ —— 私たちの願いです。」を常に念頭に置き、「正確で丁寧な健診」をモットーに、健診事業・産業医事業を通じてスタッフー丸となり、企業の心身両面を支えるべく活動しております。

"健診"の分野では予防医学の観点から、疾患の早期発見および健康増進のアプローチを行い、 "産業医"の分野では社会医学の観点から、担当企業の安全な業務遂行および社員の心身両面からの健康サポート(健康経営サポート)を行ってまいりました。

院長就任後の2年目、1番のトピックは、2019年10月1日より新進気鋭の岡野一樹先生が私どもの仲間に加わってくださったことです。岡野先生は大阪のお生まれで、立命館大学文学部心理学科をご卒業後、短期間の会社員生活を経て鹿児島大学医学部に進学されました。2014年に卒業後、京都大学病院および日本赤十字社和歌山医療センターで放射線治療を専攻された後、健診・産業医の世界に入られました。岡野先生に初めてお目にかかった折、鹿児島大学在学中に私の講義を受けたと伺いまして、とても気恥ずかしく思ったものです(私の"声楽家"としての活動でのコンサート等において、私の歌を聴いたと言われても気恥ずかしいとは全然思はないのですが、"本職"の医学部での講義を聞きましたと言われますと、何故か、とても気恥ずかしいのです)。

岡野先生は健診活動はもとより、産業医活動にも大変な情熱を持っており、当院での健診業務および産業医業務に私とともに邁進しております。仕事外では、車の運転がことのほかお好きとのことで、大型二輪免許や大型自動車免許まで保持されており、移動が多い当クリニックとしても大変心強く感じております。

2019 年 10 月からは、西千石町にあった事業所を高田病院に隣接した堀江町に移転し、法人グループ内での連携強化を計っています。加治木温泉病院との連携では、公共交通機関の運転手を対象とした「脳卒中予防検診(脳MRI検査と頚部血管超音波検査)」を実施させていただき、脳血管関連疾患による交通事故を未然に防ぐことによって、より安全で信頼性の高い交通インフラ維持に寄与しています。

健診へのITシステム導入としては、昨年度の年報にも記載致しましたが、遠隔読影システムの導入を行ったことが大きく挙げられます。本システムは、まず2名の画像診断専門医による遠隔読影を効率よく実施し、所見ありと判定されたものについて、岡野先生と私で更に画像の確認を行って、都合3回の読影を行うことで胸部レントゲン検査の読影精度向上につなげています。精密検査が必要と判定された場合は、医療機関に対し画像データを添付した上で精密検査の依頼を行い、その結果を返信していただくという仕組みを取り入れました。これらにより有所見者のフォローアップおよび胸部レントゲン読影のさらなる精度向上を図っています。

血液検査等の検査におきましても、日本人間ドック協会で用いられている基準値をもとに、当 院で使用していた基準値を更新しました。それに伴って、これまで「A:異常なし、B:経過観 察、C:要精密検査」の3段階で行っていた判定も、「A:異常なし、B:要留意、C:経過観察、 D:要精密検査、E:要治療、F:治療中」という全国標準の6段階評価に改めました。また健診結果報告書(参考資料1)の作成に関しては、検査結果を入力するだけで、判読しやすい結果表と、それに関する説明文章が自動的に出力できるようシステムの改修を行いました。心電図や血液の検査等におきましても、先述の胸部レントゲン同様、結果が要精密検査であった場合、紹介先病院から精査結果の返信をできる限り頂けるようにすることで、健診後の経過観察と症例蓄積による健診の精度向上を目指しております。

2020 年 4 月 7 日、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発令がありましたが、当院ではこれを受け、安全対策として 4 月後半からの巡回健康診断を延期とする対応をとりました。GW明けからは、感染者が少数であるという鹿児島でのウイルス感染状況に鑑み、ソーシャルディスタンスの確保、アルコール消毒の徹底等細心の注意を払いながら、職場健診の再開をいたしました。しかしながら 4 月・5 月・6 月は巡回健康診断の繁忙期であり、連日健診予定が混雑しているため、延期をした健康診断をどの時間枠で行えるかの検討など、普段直面することのなかった苦労が山積している状態です。

「コロナ禍」の産業医分野においては、平常の業務に加えて最新情報を反映した誰にでもわかりやすい資料を作成・配布することで、産業保健およびBCP(事業継続計画)の観点から企業をサポートする試みを行い、大変高い評価を顧客より頂戴しております。安全衛生委員会出席や職場巡視だけでなく「常に寄り添った産業医」を目標に、今後の活動につなげていきたいと考えております。

2019 年度の 1 年間での健診受診件数は、11,413 件でした。健診には繁忙期(4~6月)と閑散期(12~2月)がありますが、これらの偏りをできる限り軽減し効率良く健診を行うことで健診総数増につなげていける仕組み作りを進めており、現在各時期での健診施行可能枠を精査・検討しております。また、2019 年度より 5 日間で約900名の職員健診を行うという「大型健診」に取り組んでおりますが、上記の効率良い健診を追求することで、さらに大規模な健診を行うことができる体制作りを模索しております。

企業の産業保健分野におけるストレスチェック制度に関しては、職場・部署ごとの「集団分析」 の精度向上を一層進めることで、個人のメンタルヘルスの改善だけでなく職場集団の改善に資す ることを目指しております。

健診の場においては、喫煙者に具体的データを示しタバコの害を説明しての"禁煙の勧め"や、 肥満体型の具体的補正法の指導など、「健康増進」にも引き続き取り組んでまいります。また、希 望する企業には、「職場における喫煙対策」などの"健康講話"も引き続き行ってまいります。

産業医業務においては、職場巡視の実施や安全衛生員会への出席を通じて健全な企業活動を支援すると共に(参考資料 2)、さまざまな身体的・精神的悩みを抱える職員には丁寧な個人面談を行うことで、職場全体はもとより、個々人の「健康管理」にも取り組んでおります。この個人面談においては、離島や遠方地域で直接面談が実施しにくい等の状況に対応する為、SkypeなどのITシステムを導入しており、被面談者の表情や仕草、運動能力の確認を直接面談と同水準の環境下で実施しております。労働安全衛生法では、50名以上の従業員を有する事業所のみが産業医の専任義務を負いますが、従業員 50名未満の事業所においても産業医の専任を支援するため、国による補助金が(1年間に限り)利用できる制度があります。今後この制度を紹介し、これまで機会のなかった少人数事業所にも産業医活動の場を広げていく所存です。

今後も、玉昌会の行動指針である「低賞感微」をスタッフ全員の念頭に置きつつ、院内のスタッフミーティングを通じて現状の問題点を掘り起こし、定期的な運営会議を通じて法人本部との連携強化と情報共有を図る所存です。これらを通じてより強い組織を目指し、微力ながら、"健康な長寿社会"へのさらなる貢献を目指して参ります。

参考資料1:健診結果報告書

	健康診断		125.18		個人コード 氏:	を(フリナ	(ナ) 生年月日 年齢	性別
L	報告書	Ė.						
総合コメント・判定	・肥満であり、消 期的な運動を。 ・やや白血球数か ・総コレステロー 食生活と定期的	成量が必要です。 が多いです。 ま ールがやや高・ りな運動をし、 こがロビン) ま されません	集み、熱などの症状があれ く、HDLコレステロール LDLコレステロールに いやや多いです。ほとんと	検罪 はが 上ば 上が 子	の条件にあてはまります 療機関受診を。 や低く、LDLコレステ がないか、健診等で定期	。野菜ロール 的に確	中心にパランスよい食事 と が高いです。まずは野菜中 認ください。	
産業医欄	1. 通常勤務 2. 就業制限 3. 保留		医師	ā	医 部 意 見		M 100 (100 (100 (100 (100 (100 (100 (100	
自覚症状		9	近		治療中			
剱	診機関 診日(年齢) 診コース		今 回 参坂クリニック 定機①+A1c		前回 鰺坂クリニック 一般		前々回参坂クリニック	,
80	他覚所見		所見なし		所見なし	A	所見なし	
察								- 1
計測	身長 体重 BMI 謝剛	18.5~24.9	168.5 cm 79.2 kg 27.9 92.0 cm	c	168.3 cm 75.8 kg 26.8	с	167,9 cm 72.0 kg 25,5	c
视力	右(5m) 左(5m)	0.7~3.0	(0.90)	A	(0.20)	D	(0.20)	D
	左(1K 4K) 左(1K 4K)	0.7~3.0	所見なし 所見なし 所見なし 所見なし	A	所見なし 所見なし 所見なし 所見なし		所見なし 所見なし 所見なし 所見なし	A
m	1回目	上 1~129 下 1~79	100~78 mmHg	А	110~88 mmHg	A	110~78 mmHg	А
心電図	心拍教		69 心筋建血 中度 心筋傷害 初期					
胸部X線	No. 所見		No 20201023-42 異常なし	A	No 03-910 異常なし	A	No 03-1486 異常なし	Α
尿検査	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン 尿DH	(-) (-) (+)	(-)	A	(-) (-)	^	(-) (-)	A
糖	食事時間 血糖	0~109	空腹時 99 mg/d2	A	空腹時 94 mt/d2	A	空腹時 93 mg/d2	

÷	at a decate		0000 (40 (*** ***	161	-	***** (AB 140 (AB 44)		Total the read and	h-1	_
	診日(年齢)		2020/10/23 (4		1			_
	白血球数	3100~8400	9830 /µ2 30,1 ×10f/µ2	1.	c	7450 /µ2 29.6 xxt/µ2	A	6400 /sž 25.8 x0f/sž		A
	血小板数	14.5~32.9 350~489	472 ×10 ⁴ /s8	-	+	438 x0f/s8	-	444 x0°/µ2	-	
	赤血球数		14,6 g/d2		-	13.1 g/d2		13,3 g/d2		
	血色素量	12.1~14.5	43.3 %		-	40.4 %		41.5 %		
	ヘマトクリット MCH	34~43.9	30.9 pg		В -	40,4 %	A	41.5 x		A
	MCH	27~34	30.9 pg 92 f8		-					
	MCV	82~101	33.7 %		-		222			
	MCHC	31~36.5	33.7 %		-					
_	血清鉄	40~158	44 14	-	+		-			_
	GOT(AST)	1~30	21 u/l		- 1-	23 u/k		19 u/2		
	GPT(ALT)	1~30	30 w/R		1.	44 u/R		28 u/2		
	y-GTP	1~50	15 w/k		1	17 u/2		18 u/k		
	A/G比	1.3~20								
肝機	血濟総蛋白	6.5~7.9			A		A	7.8 1/42		C
能	アルプミン	3.9~100			1.			4.7 g/d2		
	総ピリルピン	0.3~1.1								
	コリンエステラーゼ	196~452					200	329 u/l]	
	LDH	110~250						162 w/k		
	ALP	108~350		0000000				177 u/2		
	絶コレステロール	130~219	226 mg/dil	1	Τ.	199 mg/dž	Α	198 mg/di2		
皇中	HDL-コレステロール	40~999	39 mg/d2	1		51 mg/d2		57 mg/di2		
甲脂	LDL-コレステロール	60~119	161 ≡g/d2	1 4	0	131 mg/d2		123 mg/dil	,	
竇	non-HDL-コレステロール	40~999								
	中性脂肪	30~149	112 mg/dQ			89 mg/d2		41 mg/d2	1	
63	クレアチニン	0~0.7	0.61 mg/dk		Т	0.52 mg/d2		0.48 mg/d2		A
Ŕŝ	尿素蜜素	8~22	11.5 mg/d2	,	A T	17.2 mg/d2	Α.	17.4 mg/d2		
能	eGFR	60~100								
rja	血清アミラーゼ	40~125	48 u/X	- 1	٩	71 u/2	A	66 u/k	- 1	A
18	尿酸	2.1~7.0	6.4 mg/d2	- 1	A.	5.7 mg/d2	A	5.7 mg/dž	- 1	A
*	便潜血1回目	(-)			1					
腸	便潜血2回目	(-)			- 100		****			
	胃部X線		-		_					
	胃部內视鏡				1					
	腹部超音波				_					-
	眼底				+					
	肺活量				_		-		\neg	-
描	一秒量				1.		****			
能	一秒車				1					
8	乳房X線右						_		_	-
ĭ	乳房X線左				-11					
Ĥ	子宫類部細胞除				-	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	****			
							_		_	-
	メタボリックシンドロー」	、判定	予備群			定不能	判定不能			
	特定健康診査区分		積極的支援			(定不能	判定不能			
生	咴煙状况		10本以上/日			10本以上/日		10本以上/日		
ĝ	アルコール状況		飲まない			平均的と思う		平均的と思う		
Ţ	睡眠状况		6時間未満		6	6時間未満		6~7時間		
-	検査(再検査)受診日			_	Ť		_		_	-
	病名①				+					-
	病名(2) 病名(2)									
					-					
ŵ	病名③									
àF.	学使の力計									
	就棄区分				-					
eri.	特記事項									
	医療機関名									
	医師名									

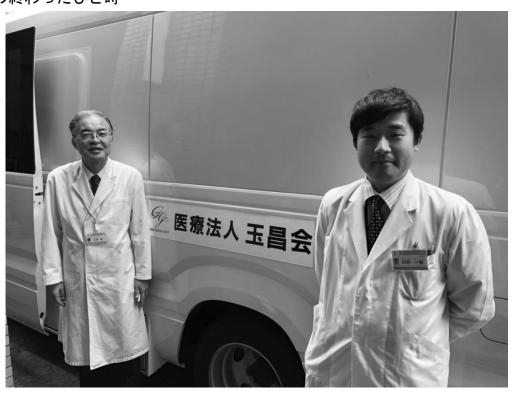
巡回健診 レントゲン車両



参考資料 2:産業医活動に関する一覧表(2019年12月時点)

	411	3027	•	*		
No.	事業所名	産業医	健診	巡視回数	ストレス	巡視・安全衛生委員会等
NO.	争未加石	選任義務	対象者	(12 か月)	チェック	実施状況
1	㈱九電工鹿児島支店	有	147	12	_	職場巡視・面談
2	㈱九電工鹿児島営業所	有	117	12	_	職場巡視・面談
3	㈱九電工鹿児島配電工事営業所	有	64	12	_	職場巡視・面談
4	佐川急便㈱鹿児島営業所	有	_	12	_	職場巡視・委員会・面談
5	佐川急便㈱霧島営業所営業所	有	_	12	_	職場巡視・委員会・面談
6	セイカ食品(株) 本社	有		6	_	職場巡視・委員会
7	セイカ食品(株) 唐湊工場	有	441	6	_	職場巡視・委員会
8	セイカ食品(株) 日置工場	有		6	_	職場巡視•委員会
9	鹿児島トヨタ㈱本社	有	190	6	実施	職場巡視・委員会・面談
10	SBS ゼンツウ(株)	有	20	6	_	職場巡視・委員会
11	ラ・サール学園	有	162	6	_	職場巡視
12	大成ビルサービス	有	313	6	実施	職場巡視
13	㈱昭和貨物本社	有	014	6	実施	職場巡視
14	㈱昭和貨物大峯営業所	有	214	6	実施	職場巡視
15	㈱ミートセンター鹿児島	有	64	6	実施	職場巡視
16	指宿海上ホテル	有	35	6	実施	職場巡視
17	(株)南国リゾート	有	59	6	_	職場巡視
18	伊田食品㈱学校給食センター	有	153	6	実施	職場巡視
19	(株)南九州電設	有	78	6	実施	職場巡視
20	藤絹(株)	有	126	6	実施	職場巡視

巡回健診の終わったひと時



医療法人 玉昌会 在宅サービス事業部

2019 年度 医療法人玉昌会 在宅サービス事業部

《経営理念》

「いつまでも健やかに・・・・ --私たちの願いです。」 「貴方らしく暮らすために・・私たちは地域に貢献します。」

《経営目標》

私たち医療法人玉昌会は、 地域の医療・介護及び福祉のシームレスな連携を構築します。 地域の皆様の安心・安全・健康に貢献します。 「活き活き」暮らす環境を提供します。

在宅サービス事業部の概要

名 称 医療法人玉昌会 在宅サービス事業部

開設者 髙田 昌実

◇◇◇ 鹿児島地区 ◇◇◇

ヘルパーステーション甲東

鹿児島市新町 5 番 19 号 Tel 099-219-2670 1998 年 5 月開設

居宅介護支援事業所甲東

鹿児島市新町 5 番 19 号 1999 年 10 月開設

通所介護事業所 しあわせの杜・ケアレジデンス風の街

鹿児島市堀江町 6-3 TEL099-248-8112 2011 年 5 月開設

看護小規模多機能型居宅介護 しあわせの杜・ケアレジデンス星の街

鹿児島市堀江町 6-3 TEL099-248-8136 2011 年 5 月開設

住宅型有料老人ホーム しあわせの杜・ケアレジデンスほりえ

鹿児島市堀江町 6-3 TEL099-248-8111 2011 年 5 月開設

訪問看護ステーションまむ鹿児島

鹿児島市堀江町 6-3 TEL099-248-8450 2012 年 7 月開設

◇◇◇ 姶良地区 ◇◇◇

居宅介護支援事業所 ぬく杜

始良市加治木町反土 2156-5 Tel.0995-62-0106 1999 年 10 月開設

訪問看護ステーション まむ

姶良市加治木町反土 2156-5 TeL0995-63-8881 2008 年 3 月開設

通所介護事業所しあわせ通りらぶ

始良市加治木町反土 2156-5 Tel0995-62-5950 2016 年 4 月開設

グループホーム しあわせの杜・ケアレジデンス木もれ日

姶良市加治木町反土 2156-1 Tel0995-62-5915 2009 年 4 月開設

グループホーム 「いこいの里」花いちもんめ

始良市加治木町木田 4888-4 TEL0995-62-2983 2016 年 4 月開設

看護小規模多機能型居宅介護 しあわせの杜・ケアレジデンス とまり木

姶良市加治木町反土 2156-1 TEL0995-62-5916 2020 年 10 月開設

小規模多機能型居宅介護 しあわせの杜・ケアレジデンス お福

始良市西餅田 202-3 TEL0995-65-1234 2010 年 4 月開設

住宅型有料老人ホーム しあわせの杜・ケアレジデンス おはな

住宅型有料老人ホーム しあわせの杜・ケアレジデンス おはな別館

姶良市西餅田 202-3 TeL0995-65-2040 2011 年 6 月開設

在宅サービス事業部 部門別活動報告

部門別活動のご紹介にあたって(玉昌会のBSC活動)

医療法人玉昌会では、Balanced Score Card (以下BSCという) を活用した部門別活動を展開しています。

※BSC(Balanced Score Card)=組織のビジョンや戦略を4つの視点から具体的な目標や行動計画に視覚化し、実践し評価するための手法。

医療法人玉昌会のBSC運用スケジュール

2月:新年度の基本方針(法人・各地区・両院)発表 (合同スタッフ会議にて)

▼

3月:前記方針に基づいた部門基本方針の立案

▼

3月: 具体的部署目標の設定並びに目標を達成するための具体的な施策内容と実施スケジュールの立案

▼

4月: BSC事務局によるヒアリング、提出 (PLAN)

▼

4月~3月:施策の実施(DO)

▼

9月、3月:結果とその評価(CHECK)

▼

9月:BSCの修正(ACTION)

BSCの立案においては次の4つの視点区分がポイントとなります。

- A. 患者満足の視点
- B. 健全経営の視点
- C. 医療の質向上の視点
- D. 学習と成長の視点

この4つの視点区分にもとづいて、各部署で立案されたものです。

ケアレジデンスおはな(住宅型有料老人ホーム)

【今年度の取り組み】

A-1. 身だしなみ規定の遵守

達成目標:違反者ゼロ

A-2. 利用者の満足度向上

達成目標:不満に対する協議・検討をし、業務改善事例を1件以上達成する

B-1. 事業所の健全経営

達成目標:入居者平均40.6名、稼働率96.6%

C-1. リスクマネジメントの強化

|達成目標 : 事業所ミーティングにてインシデント・アクシデント報告、車両事故等の検討会を実施。

D-1. 職員が自主的に学ぶ風土づくり

達成目標:事業所内での研修計画・勉強会の実施

【今年度を振り返って】

入居に関しては、看護師との連携を図り、医療的管理を強化し、入居年数は伸びてきています。しかし、入居年数が伸びる事で、高齢化も伴い、急激な入院・退去へ繋がり、稼働目標を達成できませんでした。安定した施設運営の為、新規入居者のスムーズな受け入れを実施する。また、事業所内での研修会の充実を図り、よりよいサービスの提供できるように努めていきます。

ケアレジデンスおはな別館(住宅型有料老人ホーム)

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標:年間計画に基づく満足度調査の実施、集計、集計結果公表する。また、業務改善事例があれば、 実施し評価を行う。

B-1. おはな別館の健全運営

達成目標:19.5名入居、稼働率97.5%

C-1. リスクマネージメントの強化

達成目標:ミーティングでインシデントアクシデント報告・事故報告・車輛事故報告・検討会を実施する。 毎月の在宅会議で件数と事例を報告する。

C-1. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標:年度内にて自己点検を実施し、改善を行う。

D-1. 業務に関する基礎知識の習得 学習意欲の向上

達成目標:事業所内での年間研修計画に基づく勉強会の実施

【今年度を振り返って】

今年度は、目標平均入居者数 1 9. 5名・目標平均稼働率 9 7. 5%に対し、年間平均入居者数実績 1 8. 1名・年間平均稼働率 9 0. 7%と、目標値を下回る結果でした。次年度は、待機者リスト更新を行いながら状況を把握し、医療機関や居宅介護支援事業所など周囲の関連事業所との連携を図り、迅速な対応に努めたいと思います。また、ご利用者様やご家族様の満足度向上を図り、安心・安全で良質なケアを目指します。

ケアレジデンスほりえ(住宅型有料老人ホーム)

【今年度の取り組み】

A-1. 満足度調査実施と満足度率向上

達成目標:満足度調査項目検討と調査実施。満足度率85%以上

A-2. 利用者の目線での対応

達成目標:入所者からの苦情発生2件以内

B-1. 在宅部門・各事業所の健全経営

達成目標:予算書に基づく事業運営年平均値=入居者数26.5名

C-1. リスクマネージメントの強化

達成目標:リスク事例に対してのカンファレンスを毎月実施、取り組み→ 改善策を書面で残していく

C-2. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標:実地指導を見据え、事業所自己評価を行い、法令遵守を徹底する。

D-1. 業務に関する基礎知識の習得

達成目標:事業所内勉強会の年間計画と策定と毎月実施。

【今年度を振り返って】

今年度は年間平均26.5床にて推移し、目標である26.5床を達成。平均9名前後の待機者有しながらの運営が行えていた。退去から入居までの期間については年末年始を挟み、ご家族と連携できない状況が重なってしまい、新規入居までに1か月程かかってしまった。来年度はすぐに入居できる待機者を有しながら運営をし、満床維持をしていくことが課題。令和元年度末にコロナウイルスによるご家族の面会制限が必要なってしまい、入居者様、ご家族に多大なご迷惑をお掛けしてしまった。感染予防を最優先するあまりに、ご家族と入居者さまの繋がりが途絶えてしまう状況になってしまい、対応についても満足度が得られるような対応が出来ていなかった。

ケアレジデンスお福(小規模多機能ホーム)

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上①

達成目標:満足度調査を実施し、調査結果を運営推進会議や利用者ご家族へ公表する。

A-2. 利用者様の満足度向上②

達成目標:サービスの質の向上や業務改善について検討し、改善事例があれば実施し評価を行う。

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標:登録平均を25.5名。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標:毎月の定例ミーティングでインシデントアクシデント報告・事故報告・車輛事故報告を行い、 対応策を検討する。また、年間の報告件数を集約・分析し、結果を全事業所に報告する。

D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標:自己点検票にて自己点検(評価)を実施する。

E-1. 業務に関する基礎知識の習得

達成目標:事業所内で研修計画を作成し、研修テーマや講師担当などを取り決め実施する。

【今年度を振り返って】

今年度は、目標登録平均者数25.5名に対し、年間登録平均者数実績26.0名と目標値を0.5名上回る結果でした。次年度も、医療機関や居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなど周囲の関連事業所との連携を図り、迅速な対応に努めたいと思います。

また、利用者様が住み慣れた地域で安心・安全な生活を送ることが出来るよう地域内でサポートし合いながら、本人らしい暮らしの実現に向けて支援していきます。

ケアレジデンスとまり木(看護小規模多機能型居宅介護)

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標:年間計画に基づく満足度調査の実施、集計、集計結果公表

業務改善事例があれば、実施し評価を行う。

B-1. 既存事業所の健全運営

達成目標:登録実稼働平均25.5名、看護小規模多機能への転換

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標:毎月のミーティングでインシデント・アクシデント報告、事故報告、車両事故報告、検討会を 実施する(毎月)。

> 毎月の在宅介護で件数と事例を報告する。年間の報告件数を集約・分析し結果を事業所職員に 報告する。

D-1. 法令順守に基づくサービスの提供

達成目標:事業所で自己点検表にて評価を行い年度内にて事業所で実施報告を行う。

E-1. 業務に関する基礎知識の習得

達成目標:事業所内で研修計画を作成し実施する。研修内容やテーマ、講師担当を決め実施する。事業所 内ミーティング等で勉強会の実施。重点項目として身体拘束、高齢者虐待、認知症、医療に関 して研修を行う。

【今年度を振り返って】

令和2年10月1日に看護小規模多機能へと施設転換をすることが出来ました。転換後は、稼働が低迷しましたが、中重度のご利用者様の受け入れを積極的にすることで、多くの加算取得の算定が可能になり、大幅に単価が上昇しました。小規模多機能とは大きく違い、医療ケアの他に、リハビリにも力を入れることで、職員も更に成長しカンファレンスや定例会などでは、積極的な意見が多く聞かれます。

地域作りに関しては、応急手当普及員活動の他、龍桜高校、自治区へ「地域と認知症高齢者の連携・予防」について発信することが出来ました。また引き続き、しあわせの杜で実施する消防訓練には地域の方が一緒に参加する姿や、職員が地域の防災訓練へ参加するなど、多くの地域活動に取り組むことが出来ました。

来年度以降も地域を基盤とした包括的支援体制を構築していきます。

ケアレジデンス星の街(看護小規模多機能型居宅介護)

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標:満足度調査を実施。集計結果を公表。

B-1. 健全経営

達成目標:稼働実績24名の達成

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標:ノーリフト、腰痛予防の研修、取り組みの実施。

D-1. 業務に関する基礎知識の習得、学習意欲の向上

達成目標:外部研修へ研修参加を促し伝達講習の実施

【今年度を振り返って】

経営面は、平均稼働人数達成、介護度の高い利用者の受け入れから前年の実績を上回る結果となった。在宅腹膜透析、看取り支援等これまで実績のなかった医療必要度の高い利用者を受け入れ、事業所としての質の向上を図った。リスクマネジメントの強化として腰痛予防に取り組んだ。高田病院の腰痛予防委員会に参画し、委員会からの勉強会開催、福祉用具の導入を実施し、またその取り組みの評価としてアンケート調査を行い、在宅研究発表会で結果報告を行った。外部研修は介護キャリア段位制度のアセッサー研修、介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修、喀痰吸引等研修指導者講習等の研修を受講した。次年度は、引き続き、事業所の質向上に努めると共に、安定した稼働が維持できるように取り組む。

ケアレジデンス 木もれ日 (グループホーム)

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標:事業所で年間計画に基づく満足度調査の実施、集計結果の公表。 業務改善事例があれば実施し評価を行う。

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標:稼働率94.4%、一日平均8.5名以上

入院後医療連携を図りスムーズな退院支援や入所を行い稼働率の低下を抑える。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標:事業所ミーティングでインシデント、アクシデント報告、車両事故報告の検討会を実施し、毎月 の在宅会議で件数と事例の報告をする。年間件数を集約・分析し結果を職員へ報告する。

D-1. 法令順守に基づくサービスの提供

達成目標:事業所で自己点検票にて評価し、改善を行う。

D-1. 業務に関する基礎知識の習得①

達成目標:事業所内で研修計画を作成し実施する。研修内容やテーマ、講師担当を決め実施する。事業所内 ミーティング等での勉強会の実施。重点項目として身体拘束、高齢者虐待、認知症を取りいれて いく。

【今年度を振り返って】

今年度は、入院や退居される方が少なく、空床後も他施設からのご紹介等でスムーズな入所となり、稼働率97.5%と健全運営ができました。生活の中にリハビリを取り入れるなど、満足度向上に向けた取り組みも行っております。今後も、他協力機関やご家族様と連携し、ご利用者様一人ひとりに寄り添い、温かい時間を過ごしていけるようスタッフと共に取り組んで参ります。

いこいの里 花いちもんめ (グループホーム)

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標:上半期・下半期と2回、調査を実施し、集計結果を家族へ配布。満足度「良い」に対し90%以上獲得。業務改善事例があれば、実施し評価を行う。職員への情報共有の実施。

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標:稼働率94.44%、一日平均8.5名以上利用、年間空床66床以下、平均介護度3.5以上。 待機者リスト更新をこまめに行うことで状況把握し、退居者が発生しても迅速に対応できるよう 努める。また各医療機関に近況報告をし、新規利用者獲得できるようにする。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標:インシデント2件以下、アクシデント0件。

インシデント・アクシデント発生時には、ミーティングでインシデント・アクシデント報告・事故報告・車輌事故報告・検討会を実施するし、全職員での情報共有を徹底。事故の防止・リスク軽減に努める。期末に年間の報告件数を集約・分析し結果を職員に報告する。

D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標:自己点検票にて、自己点検(評価)を実施する。記録などに不備がないように定期的に見直し を行う。書類の管理・把握・整理を実施して、法令に基づいた安心・安全な運営を行う。

E-1. 業務に関する基礎知識の習得、学習意欲の向上

達成目標:事業所内で年間研修計画を作成し、研修内容や講師などの担当を決める。事業所ミーティング などで勉強会を実施。期末に年間研修計画の実施状況について反省と改善を行い、次年度に向 け計画を立て直す。

【今年度を振り返って】

利用者様の満足度向上に関して、2ヶ月に1回、運営推進会議を開催してご家族様からの意見を聞けており、意見をもとにした改善も行えた。上半期に満足度調査を行い、下半期には外部評価にてアンケートを実施、ともに集計結果をご家族へ配布・職員へ情報共有を行っている。既存事業所の健全経営に関して、稼働率95.73%、空床142床、平均介護度4.21、平均利用8.61名、上半期には稼働率99.57%と安定した経営を行えていたが、下半期になり介護度が高い利用者様を中心に入院件数が5件発生、空床135件・稼働率91.89%と稼働率を低下させた。リスクマネジメントの強化に関して、インシデント1件、アクシデント1件、上半期にアクシデントが1件発生。事故報告書を始良市に提出。事故の再発防止策をたて全職員へ周知し、再発の防止に努めた。法令遵守に基づくサービスの提供に関して、外部評価があり、特に指摘事項などはなかったが、議事録など改善点について意見をいただいた。また記録の改善、定期的な見直し、職員への記録漏れへの教育はできたが、他書類の管理・把握・整理が未だ不完全である。業務に関する基礎知識の習得、学習意欲の向上に関して、勉強会の計画を立てるも、未実施であった。また、在宅勉強会への出席率も悪く、参加する職員は決まっており、その他の職員は周知しても不参加だった。現在、花いちもんめでは入居者様の平均介護度が非常に高く、車椅子移動が7名程度と重度化していますが、最高齢100歳を越える方もおられ、温かみのある家庭的な住環境で家族と職員が利用者様に寄り添い、穏やかな本人らしい暮らしの実現に向けて、日々協力関係を築きながら共同生活が送れるよう支援していきます。

しあわせ通り らぶ (通所介護)

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様への対応改善

達成目標:満足度調査の集計結果公表。

業務改善事例があれば、実施し評価を行う。

B-1. 事業所の健全経営

達成目標:延べ回数平均 1,040名

1日利用平均 40名

C-1. インシデント・車両事故報告の削減

達成目標:ミーティングにてインシデントアクシデント報告・事故報告・車輛事故報告・検討会を実施する (毎月)。毎月の在宅会議で件数と事例を報告する。年間の報告件数を集約・分析し結果を事業 所職員に報告する。

C-2. 法令遵守体制を整える

達成目標:自己点検を実施し、改善を行う。

D-1. 院内・院外研修への参加率の向上

達成目標:年間研修計画に基づく勉強会の実施。

【今年度を振り返って】

年間を通じて目標に対して延べ回数実績が87.9%、1日平均34名の実績でした。年間を通じて中重度の方の入院や中止が続き、前年対比98.9%の結果でした。総合事業対象者に対し自費利用へ取り組みや日曜営業(第3週)の開催、また2事業所へ介護ロボット導入し介護負担軽減へ繋げております。今後も住宅型有料老人ホームや看護小規模多機能、グループホーム等との複合施設としての地域での役割や機能を担いサービスの質の向上に努めて参りたいと思います。

ケアレジデンス風の街(通所介護)

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者が楽しめるイベントの実施

達成目標:年間計画イベントの実施。地域イベントへの情報収集・参加。

毎月、ボランティアを受入れにて非定例イベント開催。

B-1. 事業所の健全運営

達成目標: 1日平均利用者数 17名

B-2. 新規利用者の獲得

達成目標:毎月広報誌を作成し外部居宅訪問・広報にて毎月1名以上の新規利用者を獲得する。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標:事例検討計画を月ごとに作成し、月1回の検討会を実施する。

D-1. 達成目標: 勉強会参加率 70%

【今年度を振り返って】

今年度は、在宅勉強会にも e ーラーニングシステムを導入していただき、休み等で当日参加できなかった職員も時間調整を行い自己学習にて参加が出来、目標参加率を上回ることが出来た。

平均利用者数に関しては、上半期、毎月1名以上の新規利用者を獲得し稼働も安定していたが下半期はやはり入院 が続き、毎月の新規利用者は1名以上獲得出来たのですが稼働は減少傾向であった。

年度末より、新型コロナウイルス感染の影響で年間計画イベントの中止が続いた為、利用者様の満足度低下に繋がらないよう、喜んでいただけるサービス内容の検討が必要と考えられる。

訪問看護ステーション まむ

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標:内容見直し、作成。1回/年満足度調査の実施、集計、結果公表。

評価項目「良い」80%以上。アンケート結果を反映した業務改善案の設定。

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標:訪問延べ回数399回 医療144回/介護194回

C-1. リスクマネージメントの強化

達成目標:インシデント、アクシデント報告 0件

C-2. 法令順守に基づくサービスの提供

達成目標:自己点検票にて自己評価の実施。自己啓発に努める

D-1. 業務に関する基礎知識の習得·学習意欲の向上

達成目標:事業所内で毎月のスタッフ会議/勉強会を実施する

【今年度を振り返って】

本年度は、例年に比べると新規依頼や終末期による依頼件数が少なく、特に医療からの訪問看護件数による稼働が低かった。しかし、家族の墓参りや空港の送迎など利用者様のニーズに沿った幅広い外出支援を受けさせてもらう機会が多かった。

管理者の変更や職員の増員に伴い、働きやすい職場環境を目指し、スタッフの安定した定着とチームワークを再構築していきたいと考える。目標達成に向け、日々の業務改善と、利用者様獲得の為の広報活動を実施、また、研修会や事業所間での勉強会を定期的に実施することで、個々のスキルアップに繋げていきたい。

今後も、利用者様のニーズに寄り添った幅広い支援が出来るよう、在宅での生活が送れるように良質なケアを目指 していきたい。

訪問看護ステーション まむ 鹿児島

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度の把握と向上

達成目標:1回/年、満足度調査の実施、集計、結果公表。アンケートの結果を反映した業務改善案の設定。

B-1. 訪問看護利用者数の向上、稼働率の維持向上

達成目標:訪問延回数上半期9月390回、下半期3月403回

C-1. 報告の徹底

達成目標:リスク報告3件。インシデント事例について、情報の共有、対策、改善がなされているか検討。

D-1. 勉強会及び、カンファレンスの実施、質の向上

達成目標:部署内勉強会の項目に、事例検討会を追加して行う。外部研修参加とフィードバック。

【今年度を振り返って】

本年度は、スタッフ6名、リハビリスタッフ1名での安定した訪問が行えた。訪問看護ステーションからの訪問リハビリのニーズも高く、また退院直後の医療介入の要請があり訪問件数増加したが目標達成には至らなかった。今後も目標達成に向け、日々の業務改善と、スケジュールの見直し、外部利用者獲得の為の定期的な広報活動を実施してゆく。また、突発的な依頼へのスムーズな対応、夜間緊急時の対応、在宅での看取り、腹膜透析の利用者様等への対応等、より幅広いニーズに応えられるように、今後も継続し、外部研修にも積極的に参加し知識技術を高めていく。また、働きやすい職場環境を目指し、スタッフの安定した定着と増員、利用者獲得に努めてゆく。

また、隙間時間の有効活用を行い広報活動の実施、残業時間の短縮を図り、確実な実績増加に繋げていきたいと考える。今年度の満足度調査の結果を大切にし、選ばれるステーションとなるよう努力し、研修参加率向上を図り、部署全体のスキルアップに繋げていきたいと考える。今後も、ご利用者様、ご家族様がより安心して在宅での生活が送れるように、寄り添い、スタッフ全員協力体制で引き続き取り組んでいきたい。

ヘルパーステーション 甲東

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標:満足度調査の実施・公表(苦情相談5件以下)

B-1. 事業所の健全経営

達成目標: 1日訪問件数15件(延べ5, 400件)

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標:インシデント・アクシデント・ヒアリハット等の発生を10件以下にする。

D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標:月1回、職員ミーティングにて利用者1名のカンファレンス実施。ケアの向上を目指す。

D-2. 業務に関する基礎知識の習得

達成目標:在宅部門勉強会参加率 平均50%

【今年度を振り返って】

新規外部利用者様継続に加え、カンファレンス等にてヘルパー介入が必要な有料ほりえ利用者へのケア充実を考慮。ケアマネジャー等協力を頂き、重度利用者等、身体介護利用増にて、年間1日平均訪問件数19.7件を達成。併用して、自費ヘルパー利用者の定期的な利用の継続を行った。又、月1回の職員ミーティングにてカンファレンスを行い、職員同士でのケアを振り返ることで、意識的にケアの統一を図ることを目的とした。インシデント・アクシデントの発生率として、業務中での注意散漫、職員配置等により、大事には至らなかったものの、利用者自身による立ち上がりからの転倒等が見られる場面があった。職員1人1人の「気付き」「介護スキルアップ」の成長と外部及び、内部利用者の現状維持、対応力と満足度向上を目指す。

居宅介護支援事業所 ぬく杜

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標:満足度調査を8月までに実施し10月までに公表。業務改善事例を1事例

B-1. 事業所の健全経営

達成目標:月新規獲得7件、介護138件、予防17件。集中減算にならないように取り組む。特定事業所加算(Ⅱ)の算定が継続できる。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標:インシデント報告と早期改善を図る。リスクマネジメント研修会参加50%以上

C-2. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標:居宅スタッフ間での書類確認。内部監査指摘事項ゼロ。自己点検評価の実施

D-1. 基礎知識の習得、学習意欲の向上

達成目標:研修計画に基づき研修参加率80%、職員間の理解度80%。

【今年度を振り返って】

新入職員が入職されたが、ケアマネ業務が初めてで即戦力にはならず、利用者の新規獲得が難しかった。しかし、 研修期間を終え徐々に件数が増えつつある。

地域ケア会議へ積極的に取り組み、高い評価を得ることができた。

かなりの困難事例への対応をすることで、ケアマネとしての立ち位置、ケアマネの本質を学ぶ機会となり、職員一人一人の意識改革の糸口となった。

昨年より実施している、他事業所との研修会も軌道にのり、地域ではたらくケアマネとして横のつながりが持て地域包括ケアシステムの要として、質の向上への取り組みができた。

昨年同様、管理者が姶良伊佐ケアマネ協議会の理事として活動してきた。引き続き理事とし活躍していきたい。 今後も、新規利用者獲得、困難事例への対応、地域との連携、質の向上に取り組んでいきたい。

居宅介護支援事業所 甲東

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様に信頼されるケアマネジャー

達成目標:利用者様からの不満による担当変更、事業所離れを未然に防ぐ。年間0件

B-1. 事業所の健全経営

達成目標:ケアマネー人ひとりが、利用者数と財務状況に意識を持ち、1ケアマネあたり実績請求数26 件/月を目指す。特定事業所加算Iの維持

C-1. ケアマネジメントプロセスの遵守

達成目標:事例検討会、事業所内研修を定期開催し、他ケアマネのプロセスの学びや自身のケアマネジメント力を見直す機会とし、質を高める。

D-1. 業務に関する知識・最新情報の取得

達成目標:在宅勉強会への出席率8割、外部研修へ年間2回は出席し学習を深める。

【今年度を振り返って】

母体病院からの紹介や長寿あんしん相談センター、ケアマネ知人からの紹介などで、新規数も増え実績請求数 150 件以上に到達することができた。主任ケアマネ 2名体制、中重度利用者 40%以上の要件と毎週情報連絡会議を開催し、年3回他居宅との共同勉強会も定期開催し、特定事業所加算 I も維持することができた。 ケアマネ 6. 1名体制、実務経験者のみで事業所内も落ち着いていたが、異動や退職、新入職者と体制の変更もあり、利用者や関係者に迷惑をかけたことが反省点である。

次年度は、ケアマネ全員が新規相談に迅速かつ丁寧に対応できるよう、新人教育を早急に行い、特定事業所 I の居宅 事業所として、母体病院や長寿あんしん相談センターや地域、他居宅や関係機関とも連携して邁進していけるよう、 さらなる質の向上を目指していきます。 在宅サービス事業部内でも各事業所において、独自の取り組みや研究を行っており、年に一度、両地 区にて研究発表会を開催しています。

【第7回姶良地区研究発表会】

〇実施日: 2019 年 12 月 13 日 (金)

〇会 場:加治木温泉病院 1階食堂談話室

≪演 題≫

① 訪問看護からのリハビリテーション介入による利用者の変化 訪問看護ステーションまむ 籠田

② 介護記録のIT化導入を試みて

しあわせ通りらぶ

楠元

③ 整容(化粧)

~生活意欲と心理的効果を目指して~

木もれ日 日髙

④ ヒーリングミュージックを使った認知症のBPSD軽減の取り組み

おはな別館 徳重

【第6回鹿児島地区研究発表会】

〇実施日: 2019 年 12 月 4 日 (水)

○開催場所:ケアレジデンスほりえ1階風の街

≪演 題≫

① ノーリフト、腰痛予防の意識調査と取り組み評価 下蘭

ケアレジデンス 星の街

② 一日でも長く自宅で生活出来る為のアプローチ ケアレジデンス 風の街 新原

③ 日常生活における活動性向上に向けて

ヘルパーステーション甲東・ケアレジデンス ほりえ 松川

④ 交通事故後の在宅復帰支援

~目標に向けた連携とリハビリ~

居宅介護支援事業所 甲東 松元

今回で姶良地区が 7 回目、鹿児島地区が 6 回目の在宅研究発表会を開催致しました。昨年と比較し、 各事業所の取り組みの質も向上してきております。

鹿児島地区では、業務改善が1例、利用者に対しての取り組みが3例あり、ノーリフト・腰痛予防で は、高田病院リハビリテーション室と連携し、機器の導入から定期研修会の実施など、多職種連携し た取り組みとなりました。

【在宅サービス事業部勉強会】

事業部内の勉強会も月1回のペースで開催。今期は以下のテーマで開催しました。

〇主催:在宅サービス事業部教育委員会

〇実施日:毎月1回、定例的に実施 〇対象:在宅サービス事業部の職員

【鹿児島地区】

開催月	テーマ
4 月	研究発表への取り組み方について
5月	腰痛予防について
6 月	医療・介護人としての倫理(高齢者の尊厳、身体拘束、虐待防止等)
0 73	不適切ケアをなくすためにはについて
7月	認知症の方とのコミュニケーションについて
8月	接遇・マナーの基本について
9月	守秘義務、個人情報保護の基本知識について
10 月	インフルエンザ感染予防対策
11 月	身体拘束について
12 月	研究発表会への参加
1月	高齢者虐待について
2 月	臨死期の看護と看取り
3 月	転倒・転落を減らすための工夫

【姶良地区】

開催月	テーマ
4 月	研究発表への取り組み方
5月	嚥下機能について
6 月	医療・介護人としての倫理(高齢者の尊厳、身体拘束、虐待防止等)
0 73	不適切ケアをなくすためにはについて
7 月	緊急時の対応(心臓マッサージ、AEDの使用方法について)
8月	介護職のストレスマネジメントについて
9月	リハビリについて(高齢者の介護技術、腰痛体操等)
10 月	感染対策について
11 月	福祉用具の選定について
12 月	在宅研究発表会への参加(姶良地区、鹿児島地区)
1月	おむつ、排せつケアについて
2 月	リスクマネジメントについて
3 月	看護小規模多機能について